

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公表番号】特表2005-533138(P2005-533138A)

【公表日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2005-043

【出願番号】特願2004-513350(P2004-513350)

【国際特許分類】

C 08 F 297/08 (2006.01)

C 08 F 4/645 (2006.01)

C 08 L 53/00 (2006.01)

D 01 F 6/30 (2006.01)

【F I】

C 08 F 297/08

C 08 F 4/645

C 08 L 53/00

D 01 F 6/30

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月23日(2006.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

A) 1~20重量%のプロピレン以外のオレフィンを含有するプロピレンコポリマー5
0~80重量%および

B) 5~98重量%のプロピレン以外のオレフィンを含有する少なくとも1つのプロピレンコポリマー20~50重量%

を含み、メタロセン化合物をベースにする触媒系を用いる2段階または多段階の重合により得ることができ、触媒系が両段階で使用され、プロピレンコポリマーAおよびプロピレンコポリマーBが分離相として存在し、n-ヘキサン可溶材料の比率が2.6重量%以下(2.6)であるプロピレンコポリマー組成物。

【請求項2】

30%以下(30%)の曇り値を有し、引張弾性率(E)が100~1500MPaの範囲である請求項1に記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項3】

プロピレン以外のオレフィンが、もっぱらエチレンである請求項1または2に記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項4】

プロピレンコポリマー組成物の総重量に基づいて0.1~1重量%の核剤を含む請求項1~3のいずれか1つに記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項5】

D M T A(動的機械的熱分析)により決定されるプロピレンコポリマーBのガラス転移温度が、-20~-40の範囲である請求項1~4のいずれか1つに記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項6】

モル質量分布 M_w / M_n が、1.5 ~ 3.5 の範囲である請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項 7】

50,000 g/mol ~ 500,000 g/mol の範囲の数平均モル質量 M_n を有する請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項 8】

少なくとも 2 つの連続する重合工程を含む多段階重合が実施され、かつメタロセン化合物をベースとする触媒系が使用される請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物の製造方法。

【請求項 9】

繊維、フィルムまたは成形品を製造するための請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物の使用。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物を、好ましくは実質的な成分として含む繊維、フィルムまたは成形品。